

九条ブログはらまち

「はらまち九条の会」ニュース No. 16

2007(平成19)年 1月14日(日)発行

<64年前の1943年1月14日は、ドイツの無条件降伏を要求するカサブランカ会談開始の日>

明けましておめでとうございます

現憲法も、もちろん憲法9条もそのまま堅持され、世界中の戦禍が絶え、平和が訪れることを祈念しつつ… (「はらまち九条の会」事務局一同)



「はらまち九条の会」発足から一年、憲法を変える国民投票法案も具体化されつつあります！
1947年の憲法施行から60周年(遺暦)というのに、いよいよ正念場を迎えています！
高田健氏の講演会で元気になり、現憲法の認識をさらに深めましょう！

2月3日(土) 会場:南相馬市文化センター 3階視聴覚室
午後2時~2時30分 「はらまち九条の会」総会
午後3時~4時30分 高田健氏講演会



○2005年12月7日に発足した「はらまち九条の会」ですが、会員も294名になり、一周年を期して、全会員による総会を2月3日(土)に開催いたします。○同時に「許すな! 憲法改悪市民連絡会」の高田健氏講演会を開催します。会場は南相馬市文化センター3階視聴覚室です。○寒さの厳しい時節ですが、憲法九条を維持し戦争をしない国日本のための意志表示のためにも、ご出席のほど案内申し上げます。

総会では

- ①活動報告・会計報告・活動案・予算案審議など、同封の「要項」をご持参ください。
- ②30分の短時間ですので、発言予定の方はその内容を、1月25日までにハガキや手紙で事務局山崎健一宛(厚町区西町3-53-2)に、または井上宅にFAX0244-26-0892へ予めお送り下さい。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。
- ③12月6日放送のFCTテレビ「映画『日本の青空』撮影風景・鈴木安蔵について」(6分間)を上映。

高田健氏講演会では 入場無料です。どなたでもご自由に入場ください

<講演者の高田健氏プロフィール>



□1944年12月福島県生まれ □1965年早稲田大学文学部中退 □1986年国際経済研究所設立、同代表 □1993年STOP! 改憲・市民ネットワーク結成 □1997年憲法調査会設置のための国会法改定に反対する運動開始 □1999年許すな! 憲法改悪・市民連絡会結成 □2000年憲法調査会市民監視センター設立 □2002年イラク反戦運動「WORLD PEACE NOW」の結成を提唱 □2004年「九条の会」結成に際して事務局員

<著書>『改憲・護憲 何が問題か~徹底検証・憲法調査会』(技術と人間2002年12月)
『護憲は改憲に勝つ~憲法改悪国民投票にいかにか立ち向かうか』(同2004年10月)
『9条がこの国を守ってきた』(梨の木舎 2006年9月)

講演では特に、①憲法改悪への現状について ②改悪を阻止するために私たちができることは ③ふるさとの憲法学者鈴木安蔵について、の3点を中心にお話していただきます。現在高田氏は護憲のために全国各地で講演をされ、そのお話は大変分かり易いと定評がございます。すでにいわき市や福島市民からの問い合わせもあり、他九条の会にも呼びかけ、相双各地からも大勢の方が入場される予定です。

会場では ・憲法についての本の販売など ・お手伝いできる方、事前にお申し出ください！
・会員みんなの講演会です。楽しい、明るい、希望の講演会になるよう工夫しましょう！

講師を囲んで懇親会も開催 ・午後6時より・会場(当日発表)・お気軽にご参加ください。

○与党による国民無視の政策を見て私たちは「もうすぐ改憲されてしまうのでは…」
「九条の会の運動も空しいのでは…」と考えがちですが、2月3日の高田健氏講演会では、氏の著書タイトルのように『護憲は改憲に勝つ』という“希望”のお話が聞けるはずですよ！





「誰が考え誰がつくろうが、良いものは守らねば」

「憲法9条・戦争と平和への思い」会員からの一言

○教育基本法が変えられ、防衛庁が省に膨張、特に憲法9条を変える政治状況も勢いを増しています。そこで、全会員によびかけ、『憲法9条や平和への思い』をハガキに書いていただきました。○12月12日から1月10日まで13通のハガキが事務局に寄せられ、掲載了承の方のものだけを到着順に、原文のまま掲載いたします。ご協力ありがとうございました。○今後も掲載を続けますので、「憲法を守ろう・九条の堅持を」という会員の皆様の熱い思いを、どんどんお寄せください。

✪ 教育基本法が国家支配に改悪され憲法を改悪して、戦争に突入する道筋が進められています。戦後60年の間、これ程危険な情勢はありませんでした。市民の殆んどの人達は戦争反対の筈だと思いますが、この悪法を次々と進めていく国会議員を選んだのは私たちです。再びこのような危険な法案を通さない為にも私たちが反省しなければ



ならないと思います。孫子を戦争への道から護るのも私たち一人一人の意志にあります。事務局の皆様には本当にご苦労様です。感謝して居ります。お互いに頑張りましょう。(橋本町・金井武)

✪ 講演会等の催し物は小高・原町・相馬・新地各地区が連帯して持ち回りでできないものでしょうか。そのような催し物があってもよいのではないのでしょうか。……………(蓋浜・高橋彰)

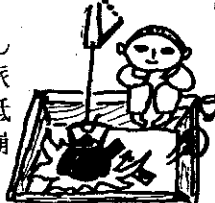
✪ 事務局活動御苦労様です。事務局のお手伝い等、なかなかできず、すっかりおまかせばなしになって、いろいろ御苦労もあることと思います。教基本法改悪等も目の前にあり、のんびりとはしてられない情勢です。お体に気をつけて御活躍下さい。……………(北町・大貫昭子)

✪ 長いモノに巻かれる主義できた日本人は何をされても、ただノホホンと何もしない民族なんですね。フランス革命なんて夢の又、夢…。「歴史を学べない人は不運にも又、それを繰り返す」一愚かな民族にはなりたくないものです。ホント……………(鹿島区・朝倉悠三)

✪ あらゆる機会をとらえて、「平和菌」を撒いていきたいと念じます。特に若い人たちにに向けて。……………(橋本町・佐々木孝)

✪ 12月14日、朝日新聞「天声人語」から。最近亡くなられた長崎の被爆者田中キヲさんのことば「でも、何で半世紀過ぎても戦争がなくならんとすかな・本当に人間はしようのない生き物だと思えますよ」

・いわき市在住の評論家新藤謙さんの私信から「民主主義の敵は多数派ということを感じず昨今です。抵抗しながら敗北する心構えだけは崩さないでいこうと思います」(12月12日発信)(栄町・若松丈太郎)



✪ 事務局のみなさんの御苦労に心から感謝しております。「九条ブログはらまち」の制作も素晴らしいと思います。「何か行動しなければ」という思いでみなさんが加入されていると思います。事務局のみなさんのリーダーシップをこれからも発揮して下さい。(上太田・斎藤良一)

✪ 誰が考え誰がつくろうが、良いものは守らねばと強く思っています。戦争のない日々のありがたさを世に伝え継ぎたい。入会したばかりで詳しいことはわかりませんが、「継続は力なり」をモットーにがんばってみたいと思っています。

……………(益田・大原尚子)

✪ 北朝鮮の動き、子供達の荒れ etc. 現在山積みの問題を今の教基法や憲法のせいになれようとしています。平和ボケという人もいますが、今まで空気のようが一番大切なものを自然に感じてきた事は他国に例を見ない希少な事と誇りに思います。決して戦前のような日本にはなりません。この思いを若い人に伝えていかなければと思うのですが、今の若い人はどう感じているのでしょうか。でもこれは若い人の責任でもなく、今現在生きる人達でなんとかしなければ、本当の「美しい国」には成りえません。…(東京都・浜名弘美)



✪ 戦後生まれの安倍首相は非常に恐ろしい人間だ。教育基本法の改定、防衛庁の「省」への昇格、そしていよいよ憲法の改正か。この憲法改正だけは私達の手で阻止しなければならぬ。……………(国見町・角田靖夫)

✪ かつてのように「万歳」と声を大にして天皇を戴かず、アメリカと協調(こびへつらうこと含め)している今の日本は戦前のようにはなることは難しいと考える九条の会の中の少数派の楽観論者也。でも9条を含む日本国憲法はずばらしい。……………(小高区・迎田健生)



●今の政治の流れから見ますと、簡単に憲法9条を改定して、日本を戦争の出来る国にしようとしています。それは絶対に阻止しなければなりません。そのためには今の9条を守るしかないのです。……………(会長・平田慶隆)

●改憲の足音が近づいている今、一人一人が出来ることを発信し続けることが急務だと思います。……………(事務局・石田賢二)

●人任せでなく、気持ちのある人がまずやらなければならない思いで事務局の一員となっています。どんなに情勢は厳しくとも、私たちは九条とともに未来を歩きたいと思えます。……………(事務局・早坂吉彦)

●還暦を過ぎ分別顔でいることも一つの生き方ですが、老骨に鞭打ち蛮勇を奮い「行動しない良心は悪の味方だ」(金大中)と考えて、一人でも多くの方に日本国憲法の崇高さや、戦争の愚かさを訴えたい。郵政改革や増税も防衛問題もイラク派兵も教基法や憲法の改定だって、総じて結局はプッシュに媚びるだけの、アメリカ追従政策にほかなりません。なにが愛国心ですか！(事務局・山崎健一)

●「憲法を変えて戦争へ行こう」という世の中にしないために、一人が一人に声をかけてください。(事務局・香場恵子)